



# 2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月12日

上場会社名 昭和産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 2004 URL <a href="https://www.showa-sangyo.co.jp/">https://www.showa-sangyo.co.jp/</a> 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 塚越 英行

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 村田 吾大 TEL 03-3257-2036

定時株主総会開催予定日 2025年6月24日 配当支払開始予定日 2025年6月25日

有価証券報告書提出予定日 2025年6月20日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期の連結業績(2024年4月1日~2025年3月31日)

## (1)連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	334, 425	△3. 4	11, 126	△15. 4	13, 591	△17. 9	11, 599	△6. 1
2024年3月期	346, 358	3.4	13, 146	214. 2	16, 558	153. 8	12, 358	58. 9
(注) 与任刊ナ	+ 000F#0 B	<del>#</del> 0 11	799 <b>5</b> 5 m /	A 20 7n/)	0004年 0 日	<del>u</del> n 10	110五七四 /	104 (0/)

(注) 包括利益 2025年3月期 11,723百万円(△38.7%) 2024年3月期 19,112百万円(104.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	356. 01	_	8.8	5. 3	3. 3
2024年3月期	369. 44	_	10. 2	6. 5	3.8

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 1,528百万円 2024年3月期 2,159百万円

### (2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2025年3月期	百万円 255, 504	百万円 138, 619	% 52. 8	円 銭 4,156.73
2024年3月期	262, 238	133, 253	49. 4	3, 875. 58

(参考) 自己資本 2025年3月期 134,978百万円 2024年3月期 129,610百万円

## (3)連結キャッシュ・フローの状況

(0) 2000	1 7 2 - 2 - 47 1/70			
	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	20, 274	△11, 385	△10, 057	6, 868
2024年3月期	23, 751	△12, 401	△9, 435	8, 136

## 2. 配当の状況

年間配当金						配当金総額	配当性向	純資産配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	(合計)	(連結)	(連結)
	円銭	円銭	円銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	_	30.00	_	50.00	80.00	2, 677	21. 7	2. 2
2025年3月期	_	40.00	_	60.00	100.00	3, 249	28. 1	2. 5
2026年3月期(予想)	_	50.00	-	50.00	100.00		34. 2	

### 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

								(, 0 12.	110011111111111111111111111111111111111
	売上高		営業利	業利益 経常利益		引益	親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
) T !!=	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	340.000	1. 7	11, 000	$\triangle 1.1$	13, 000	△4. 4	9, 500	△18. 1	292. 56

### ※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1社 (社名) Showa Sangyo International Vietnam Co., Ltd.

(注) 詳細は、添付資料 P. 15「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
① ①以外の会計方針の変更 : 無
④ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料 P. 15「3. 連結財務諸表及び主な注記(5)連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

## (3)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

2025年3月期	32, 995, 420株	2024年3月期	33, 985, 420株
2025年3月期	523, 094株	2024年3月期	542, 511株
2025年3月期	32, 583, 205株	2024年3月期	33, 451, 733株

## (参考) 個別業績の概要

2025年3月期の個別業績(2024年4月1日~2025年3月31日)

### (1)個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
2025年3月期	百万円 215, 220	% △3. 5	百万円 6,132	% △18.5	百万円 7,580	% △23. 5	百万円 7,769	% 2. 8
2024年3月期	223, 135	2. 2	7, 523	702. 1	9, 904	146. 2	7, 559	12. 9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	238. 27	_
2024年3月期	225. 90	l

## (2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2025年3月期	百万円 184, 381	百万円 96, 508	% 52. 3	円 銭 2,969.64
2024年3月期	191, 891	94, 952	49. 5	2, 837. 04

(参考)自己資本

2025年3月期

96,508百万円

2024年3月期

94, 952百万円

# ※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

なお、業績予想に関する事項は添付資料 P.5 「1.経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(2) 当社は、2025年5月20日(火)に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。決算説明会資料につきましては、説明会当日までに、当社ホームページに掲載する予定です。

# ○添付資料の目次

1.	経営	<b>営成績等の概況</b>
	(1)	当期の経営成績の概況
	(2)	当期の財政状態の概況
	(3)	当期のキャッシュ・フローの概況
	(4)	今後の見通し
		†基準の選択に関する基本的な考え方 ······ 6
3.	連綿	<b>吉財務諸表及び主な注記</b> 7
	(1)	連結貸借対照表7
	(2)	連結損益計算書及び連結包括利益計算書9
	(3)	連結株主資本等変動計算書
	(4)	連結キャッシュ・フロー計算書
	(5)	連結財務諸表に関する注記事項
		**続企業の前提に関する注記) ·········15
	(連	車結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) ······15
	(全	計方針の変更)
	(4	マグメント情報等)16
	(1	L株当たり情報)
	(重	〔要な後発事象)

### 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、物価上昇による消費者の節約志向の高まり、金融市場の変動リスク、長期化する不安定な国際情勢などもあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は創立90周年を迎える2025年度のありたい姿(長期ビジョン)「SHOWA Next Stage for 2025」の実現に向け、 $3 \, \text{rd}$  Stage「中期経営計画23-25」を2023年4月にスタートし、基本コンセプト『SHOWAの "SHIN-KA"宣言~90年、そしてその先へ~』を掲げ、 $5 \, \text{つの基本戦略「①基盤事業の強化」「②事業領域の拡大」「③環境負荷の低減」「④プラットフォームの再構築」「⑤ステークホルダーエンゲージメントの強化」の各施策を推進しております。$ 

当連結会計年度の経営成績は、連結売上高が334,425百万円と前年同期に比べ11,933百万円(3.4%)の減収となりました。営業利益は11,126百万円と前年同期に比べ2,020百万円(15.4%)の減益、経常利益は13,591百万円と前年同期に比べ2,967百万円(17.9%)の減益、親会社株主に帰属する当期純利益は11,599百万円と前年同期に比べ758百万円(6.1%)の減益となりました。

(単位:百万円)

	2024年3月期	2025年3月期	前年同期差	前年同期比
	連結会計年度	連結会計年度	114   114791212	増減率
売上高	346, 358	334, 425	△11, 933	△3.4%
営業利益	13, 146	11, 126	△2, 020	△15.4%
経常利益	16, 558	13, 591	△2, 967	△17.9%
親会社株主に帰属	10.050	11 500	<u> </u>	A.C. 10/
する当期純利益	12, 358	11, 599	△198	△6.1%

セグメントの経営成績を示すと、次のとおりであります。

### <食品事業>

食品事業は、インバウンド需要の増加等により外食等の需要が回復しましたが、一方でコストアップ要因となる物流コストや資材価格等の上昇基調が続きました。このような市場環境の中、当社の強みであるマーケット分析力を生かし、2023年4月より導入した顧客別営業組織によるターゲット業態ごとのワンストップ型提案営業の強化、適正価格での販売に取り組んでまいりました。

製粉カテゴリは、輸入小麦の政府売渡価格が昨年4月に平均0.6%(税込価格)、10月に平均1.8%(税込価格) 引き下げられたことを受け、小麦粉製品の価格改定を実施しました。一方で、当社連結子会社を含めた生産拠点の 一体運用を図ることで、物流コスト低減や生産効率化を推進しております。小麦粉の販売数量は海外向けが伸長し 前年同期を上回りましたが、プレミックスの販売数量は前年同期を下回りました。パスタの販売数量は外食市場中 心に好調であったため、前年同期を上回りました。ふすまの販売数量については、前年同期を下回りました。なお、 家庭用の小麦粉およびプレミックスの販売数量は前年同期を下回りましたが、パスタの販売数量は米の代替需要も 寄与し前年同期を上回りました。これらにより製粉カテゴリの売上高は、前年同期を下回りました。

製油カテゴリは、コストを踏まえた適正価格での販売活動と、長寿命オイルや油染みの少ないベーカリー用オイルなど機能的に価値のある商品提案や課題解決型営業に取り組んでまいりました。またコスト抑制と安定供給を目的に、当社連結子会社であるボーソー油脂株式会社、持分法適用関連会社である辻製油株式会社と連携して、生産拠点の効率的運用、原材料調達の効率化に取り組みました。業務用油脂については、需要の回復とその好機を捉えた販売施策の実行により、販売数量は前年同期を上回りました。家庭用油脂についても、汎用油・こめ油の販売が伸長したため、販売数量は前年同期を上回りました。これらにより製油カテゴリの売上高は、適正価格での販売に努めましたが前年同期を下回りました。

糖質カテゴリは、当社連結子会社である敷島スターチ株式会社やサンエイ糖化株式会社との連携を図り、グループー体となった課題解決や生産効率化などを進めております。糖化品の販売数量については、低分解水あめ、粉あめなど独自性のある商品群の拡販、医薬用など幅広く取り扱うぶどう糖商品群の強みに加え、飲料用途等の需要増加などにより前年同期を上回りました。コーンスターチの販売数量については、ビール用途等の需要が増加し、前年同期を上回りました。加工でん粉の販売数量については、前年同期を下回りました。副製品については、販売数量は前年同期を上回りましたが、販売価格は前年同期を下回りました。これらにより糖質カテゴリの売上高は、前年同期を下回りました。

これらの結果、食品事業の売上高は273,533百万円と前年同期に比べ8,795百万円(3.1%)の減収、営業利益は10,975百万円と前年同期に比べ1,874百万円(14.6%)の減益となりました。

#### <飼料事業>

飼料事業は、顧客ニーズに対する提案型営業、畜産物の販売支援や付加価値向上へのサポート等の生産者との取り組み強化、高付加価値商材の拡販に努めてまいりました。配合飼料および鶏卵の販売数量は、昨年10月からの鳥インフルエンザ感染拡大による影響はありましたが、前年同期を上回りました。一方で原料価格下落により配合飼料の平均販売価格が前年を下回ったこと、また、特に昨秋までの鶏卵相場が軟調に推移したことにより、売上高は前年同期を下回りました。

これらの結果、飼料事業の売上高は56,162百万円と前年同期に比べ3,299百万円(5.5%)の減収、営業利益は485百万円と前年同期に比べ228百万円(32.0%)の減益となりました。

### <その他>

倉庫業につきましては、貨物獲得競争が激化する中、商社や主要顧客との取り組みを強化し荷役量の増加に努めたことにより、貨物取扱量は前年同期を上回りました。

これらの結果、不動産業、保険代理業、自動車等リース業、運輸業、植物工場等をあわせたその他の売上高は 4,729百万円と前年同期に比べ161百万円(3.5%)の増収、営業利益は1,428百万円と前年同期に比べ107百万円(8.1%)の増益となりました。

・売上高の分解情報(報告セグメント及びカテゴリ別)

	22245 2 11 11	2225 7 2 11 1111		44 F F 140 U
売上高の分解情報	2024年3月期	2025年3月期	前年同期差	前年同期比
グロエー同ックカ州中国和	連結会計年度	連結会計年度	削牛肉粉左	増減率
食品事業	282, 328	273, 533	△8, 795	△3.1%
製粉カテゴリ	109, 562	106, 367	△3, 195	△2.9%
製油カテゴリ	97, 852	93, 876	△3, 976	△4.1%
糖質カテゴリ	68, 554	65, 811	$\triangle 2,742$	△4.0%
その他食品カテゴリ(注)1	6, 358	7, 477	1, 119	17.6%
飼料事業	59, 462	56, 162	△3, 299	△5.5%
その他(注) 2	2, 745	3, 086	340	12.4%
顧客との契約から生じる収益	344, 536	332, 782	△11, 754	△3.4%
その他の収益(注)3	1,822	1, 643	△178	△9.8%
外部顧客への売上高	346, 358	334, 425	△11, 933	△3.4%

- (注)1 「その他食品カテゴリ」は食品事業の内、製粉カテゴリ、製油カテゴリ、糖質カテゴリに属さない食品等の販売となります。
  - 2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業、不動産業、植物工場、 保険代理業、自動車等リース業、運輸業を含んでおります。
  - 3 「その他の収益」は「その他」でのみ計上しております。

### (2) 当期の財政状態の概況

総資産は、255,504百万円と前連結会計年度に比べ6,734百万円減少しております。主な減少要因は、売上債権が8,736百万円減少したこと、棚卸資産が1,952百万円減少したことであります。一方、主な増加要因は、投資有価証券が3,179百万円増加したことであります。

負債は、116,884百万円と前連結会計年度に比べ12,101百万円減少しております。主な減少要因は、仕入債務が4,153百万円減少したこと、有利子負債(リース債務含む)が3,412百万円減少したこと、流動負債のその他に含まれる未払消費税等が1,502百万円減少したことであります。

純資産は、138,619百万円と前連結会計年度に比べ5,366百万円増加しております。主な増加要因は、親会社株主に帰属する当期純利益11,599百万円の計上により増加したことであります。一方、主な減少要因は、配当金の支払により2,973百万円減少したこと、自己株式を取得後、消却を行ったこと等により資本剰余金が2,619百万円減少したことであります。

これらの結果、自己資本比率は49.4%から52.8%となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益16,464百万円、減価償却費10,417百万円、売上債権の減少及び棚卸資産の減少等による資金の増加がありましたが、法人税等の支払5,226百万円、仕入債務の減少及び未払消費税の減少等があった結果、合計では20,274百万円の収入となり、前連結会計年度に比べ3,477百万円(14.6%)収入が減少しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得11,528百万円及び関係会社株式の取得1,345百万円等 に資金を使用した一方、有形固定資産の売却3,466百万円の収入等があった結果、合計では11,385百万円の支出とな り、前連結会計年度に比べ1,015百万円(8.2%)支出が減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、これらで得たフリー・キャッシュ・フロー8,888百万円を原資として、コマーシャル・ペーパーの返済3,500百万円、自己株式の取得3,406百万円及び配当金2,973百万円の支払等を行った結果、10,057百万円の支出となり、前連結会計年度に比べ621百万円(6.6%)支出が増加しました。

以上の結果、当連結会計年度末の現金及び現金同等物の残高は6,868百万円となり、前連結会計年度末に比べ 1,268百万円(15.6%)の減少となりました。

## (参考)キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2025年3月期	2024年3月期	2023年3月期	2022年3月期	2021年3月期
自己資本比率(%)	52. 8	49. 4	45. 6	45. 7	46. 7
時価ベースの自己資本比率 (%)	36.0	44. 6	34. 2	37.8	47. 1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	2.5	2.2	_	38.8	3. 2
インタレスト・カバレッ ジ・レシオ(倍)	68. 7	112.3	_	6.0	72.5

※ 各指標の基準は下記の通りです。いずれも連結ベースの財務指標により計算しております。

自己資本比率:自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率:株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率:有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ:キャッシュ・フロー/利払い

株式時価総額:決算期末日の株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)

決算期末日の終値: 2025年3月期 2,835円、2024年3月期 3,500円、2023年3月期 2,537円、

2022年3月期 2,618円、2021年3月期 3,105円

キャッシュ・フロー:連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フロー 有利子負債:連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債

利払い:連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額

※ 2023年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、営業 キャッシュ・フローがマイナスのため、記載しておりません。

## (4) 今後の見通し

国内の経済情勢につきましては、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移する一方、物価上昇による消費者の節約志向の高まり、為替相場の変動リスク、長期化する不安定な国際情勢等により、依然として先行き不透明な状況にあると考えております。

当社グループは、穀物の一次加工を主な事業としており、小麦、大豆、菜種、とうもろこしなどの原料穀物相場、為替相場の影響を受けるため、当社グループのビジネスを取り巻く環境は不透明な状況が継続しております。このような状況の中、事業環境に左右されにくい収益構造を確立するために、「中期経営計画 23-25」で掲げた5つの基本戦略の各施策を推進してまいります。

2026年3月期の業績は、連結売上高3,400億円、連結営業利益110億円、連結経常利益130億円、親会社株主に帰属する当期純利益95億円を見込んでおります。

# 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS (国際財務報告基準)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

# 3. 連結財務諸表及び主な注記

# (1) 連結貸借対照表

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8, 140	8, 106
受取手形	2, 838	2, 086
売掛金	58, 659	50, 675
商品及び製品	16, 155	15, 511
仕掛品	2, 635	2, 475
原材料及び貯蔵品	29, 926	28, 777
その他	4, 516	5, 188
貸倒引当金	△111	△70
流動資産合計	122, 760	112, 749
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	32, 366	31, 241
機械装置及び運搬具(純額)	28, 424	27, 144
土地	21, 732	21, 331
リース資産 (純額)	424	348
建設仮勘定	2, 032	5, 133
その他(純額)	1, 501	1,896
有形固定資産合計	86, 481	87, 096
無形固定資産		
のれん	976	831
顧客関連資産	1, 737	1, 480
その他	1, 393	1, 451
無形固定資産合計	4, 106	3, 763
投資その他の資産		
投資有価証券	44, 042	47, 221
長期貸付金	233	203
固定化営業債権	84	82
退職給付に係る資産	1, 260	1,654
その他	3, 532	3, 020
貸倒引当金	△262	△287
投資その他の資産合計	48, 889	51, 894
固定資産合計	139, 477	142, 754
資産合計	262, 238	255, 504

(単位	:	百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	(単位:自万円) 当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26, 330	22, 177
短期借入金	13, 051	13, 516
1年内償還予定の社債	_	7,000
コマーシャル・ペーパー	14, 000	10, 500
リース債務	210	202
未払金	12, 576	12, 120
未払法人税等	3, 223	2, 486
賞与引当金	2, 424	2, 279
設備関係支払手形	186	140
設備関係電子記録債務	4, 559	3, 220
その他	6, 736	4, 718
流動負債合計	83, 299	78, 362
固定負債		
社債	18, 000	11,000
長期借入金	8, 300	7, 966
リース債務	436	402
繰延税金負債	5, 539	6, 135
役員退職慰労引当金	24	19
退職給付に係る負債	9, 279	8, 95
資産除去債務	362	373
その他	3, 743	3, 673
固定負債合計	45, 685	38, 52
負債合計	128, 985	116, 884
純資産の部		
株主資本		
資本金	14, 293	14, 293
資本剰余金	7, 876	5, 256
利益剰余金	92, 934	101, 219
自己株式	△1, 173	$\triangle 1,55$
株主資本合計	113, 931	119, 21
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13, 735	13, 592
繰延ヘッジ損益	293	$\triangle 17$
為替換算調整勘定	697	755
退職給付に係る調整累計額	952	1, 433
その他の包括利益累計額合計	15, 679	15, 76
非支配株主持分	3, 642	3, 64
純資産合計	133, 253	138, 619
負債純資産合計	262, 238	255, 504

# (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 (連結損益計算書)

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	346, 358	334, 425
売上原価	289, 478	277, 342
売上総利益	56, 879	57, 082
販売費及び一般管理費	43,733	45, 956
営業利益	13, 146	11, 126
営業外収益		
受取利息	4	27
受取配当金	735	711
持分法による投資利益	2, 159	1, 528
為替差益	177	131
社宅他不動産賃貸料	133	131
受取保険金	151	27
その他	507	446
営業外収益合計	3, 869	3,004
営業外費用		
支払利息	207	300
損害賠償金	31	68
支払手数料	49	32
貸倒引当金繰入額	149	42
その他	19	94
営業外費用合計	457	539
経常利益	16, 558	13, 591
特別利益		
固定資産売却益	148	2, 712
投資有価証券売却益	671	319
関係会社出資金売却益	_	241
国庫補助金	40	_
特別利益合計	860	3, 273
特別損失		
固定資産廃棄損	487	394
固定資産売却損	0	3
固定資産圧縮損	5	_
出資金評価損	181	_
その他	87	3
特別損失合計	762	401
税金等調整前当期純利益	16, 657	16, 464
法人税、住民税及び事業税	4, 477	4, 458
法人税等調整額	△399	300
法人税等合計	4, 078	4, 759
当期純利益	12, 578	11, 705
非支配株主に帰属する当期純利益	220	105
親会社株主に帰属する当期純利益	12, 358	11, 599

## (連結包括利益計算書)

		(単位:百万円)_
	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	12, 578	11, 705
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4, 904	$\triangle 2$
繰延ヘッジ損益	302	△310
為替換算調整勘定	_	△69
退職給付に係る調整額	790	480
持分法適用会社に対する持分相当額	536	△78
その他の包括利益合計	6, 533	18
包括利益	19, 112	11, 723
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	18, 803	11, 681
非支配株主に係る包括利益	308	42

# (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

	株主資本							
		1/1.工具本						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
当期首残高	14, 293	7, 866	82, 751	△1, 148	103, 762			
当期変動額								
剰余金の配当			△2, 174		△2, 174			
親会社株主に帰属する 当期純利益			12, 358		12, 358			
自己株式の取得				△67	△67			
持分法適用会社に 対する持分変動に伴う 自己株式の増減				△0	△0			
譲渡制限付株式報酬		10		42	52			
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					_			
当期変動額合計	_	10	10, 183	△25	10, 168			
当期末残高	14, 293	7, 876	92, 934	△1, 173	113, 931			

	その他の包括利益累計額						
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	非支配 株主持分	純資産合計
当期首残高	8, 592	△8	487	162	9, 234	3, 365	116, 362
当期変動額							
剰余金の配当					_		△2, 174
親会社株主に帰属する 当期純利益					_		12, 358
自己株式の取得					_		△67
持分法適用会社に 対する持分変動に伴う 自己株式の増減					-		△0
譲渡制限付株式報酬					_		52
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	5, 142	301	209	790	6, 444	276	6, 721
当期変動額合計	5, 142	301	209	790	6, 444	276	16, 890
当期末残高	13, 735	293	697	952	15, 679	3, 642	133, 253

# 当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	14, 293	7, 876	92, 934	△1, 173	113, 931		
当期変動額							
剰余金の配当			△2, 973		△2, 973		
親会社株主に帰属する 当期純利益			11, 599		11, 599		
自己株式の取得				△3, 406	△3, 406		
自己株式の消却		△2, 621	△342	2, 964	_		
譲渡制限付株式報酬		2		64	66		
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					_		
当期変動額合計	_	△2,619	8, 284	△378	5, 286		
当期末残高	14, 293	5, 256	101, 219	△1,551	119, 217		

	その他の包括利益累計額							
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計	非支配 株主持分	純資産合計	
当期首残高	13, 735	293	697	952	15, 679	3, 642	133, 253	
当期変動額								
剰余金の配当					_		△2, 973	
親会社株主に帰属する 当期純利益					_		11, 599	
自己株式の取得					_		△3, 406	
自己株式の消却					_		_	
譲渡制限付株式報酬					_		66	
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△143	△311	55	480	81	Δ1	80	
当期変動額合計	△143	△311	55	480	81	△1	5, 366	
当期末残高	13, 592	△17	752	1, 433	15, 761	3, 641	138, 619	

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	16, 657	16, 464
減価償却費	10, 214	10, 417
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	85	152
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△990	△393
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△7	$\triangle 5$
貸倒引当金の増減額(△は減少)	143	△16
受取利息及び受取配当金	△739	△738
支払利息	207	300
持分法による投資損益(△は益)	△2, 159	△1, 528
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	339	△2, 314
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△669	△316
受取保険金	△151	△27
売上債権の増減額(△は増加)	△6, 200	8, 736
棚卸資産の増減額(△は増加)	10, 047	1, 965
仕入債務の増減額(△は減少)	△6, 096	$\triangle 4, 153$
未払消費税等の増減額(△は減少)	1, 886	$\triangle 1,502$
その他	3, 814	△2, 427
小計	26, 380	24, 610
利息及び配当金の受取額	972	1, 081
利息の支払額	△211	△295
保険金の受取額	131	47
法人税等の支払額	△3, 527	△5, 226
法人税等の還付額	6	56
営業活動によるキャッシュ・フロー	23, 751	20, 274

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	$\triangle 2$	$\triangle 1,216$
定期預金の払戻による収入	2	2
投資有価証券の取得による支出	△53	△110
投資有価証券の売却及び償還による収入	871	351
関係会社株式の取得による支出	$\triangle 1,711$	$\triangle 1,345$
有形固定資産の取得による支出	△10, 815	△11, 528
有形固定資産の売却による収入	203	3, 466
有形固定資産の除却による支出	△298	△253
資産除去債務の履行による支出	$\triangle 3$	△107
投融資による支出	△483	△571
投融資の回収による収入	40	341
その他	△150	△414
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12, 401	△11, 385
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減 額(△は減少)	△10, 540	△3, 500
長期借入れによる収入	6, 500	185
長期借入金の返済による支出	△2, 940	△53
リース債務の返済による支出	△208	$\triangle 262$
配当金の支払額	△2, 174	$\triangle 2,973$
非支配株主への配当金の支払額	△31	$\triangle 43$
自己株式の取得による支出	△5	△3, 406
その他	△33	$\triangle 2$
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9, 435	△10, 057
現金及び現金同等物に係る換算差額	_	△99
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1, 915	△1, 268
現金及び現金同等物の期首残高	6, 221	8, 136
現金及び現金同等物の期末残高	8, 136	6, 868

### (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

### (連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

### (連結の範囲の重要な変更)

当連結会計年度において、Showa Sangyo International Vietnam Co., Ltd.を新たに設立し、連結の範囲に含めております。

なお、Showa Sangyo International Vietnam Co., Ltd. は当社の特定子会社に該当しております。

### (連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

当連結会計年度より、連結子会社昭和冷凍食品株式会社の決算日を12月31日から3月31日に変更しております。この決算期変更により変則期間となる当連結会計年度の昭和冷凍食品株式会社の決算は2024年1月1日から2025年3月31日までの15か月間となります。

なお、この変更が連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

## (会計方針の変更)

### (「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年 改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。

従来、所得等に対する法人税、住民税及び事業税等(以下、「法人税等」という。)について、法令に従い 算定した額を損益に計上することとしておりましたが、所得に対する法人税等について、その発生源泉となる 取引等に応じて、損益、株主資本及びその他の包括利益に区分して計上することとし、その他の包括利益累計 額に計上された法人税等については、当該法人税等が課される原因となる取引等が損益に計上された時点で、 これに対応する税額を損益に計上することといたしました。なお、課税の対象となった取引等が、損益に加え て、株主資本又はその他の包括利益に関連しており、かつ、株主資本又はその他の包括利益に対して課された 法人税等の金額を算定することが困難である場合には、当該税額を損益に計上しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20 - 3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

### (セグメント情報等)

- a. セグメント情報
- 1 報告セグメントの概要
  - (1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績の評価をするために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービスのマーケット分野別に区分した「食品事業」「飼料事業」ごとに包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は「食品事業」「飼料事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

各報告セグメントが取り扱う製品及びサービスは以下のとおりであります。

食品事業………小麦粉、プレミックス、パスタ、パン、ふすま、食用油、冷凍生地、冷凍食品、

ギフトセット、石けん、大豆たん白、脱脂大豆、菜種粕、米粕、糖化製品、

コーンスターチ、乳酸菌等

飼料事業……配合飼料、単味飼料、鶏卵他畜産物等

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法 報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表の作成方法と概ね同一であります。 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は、主に 市場価格や製造原価に基づいております。 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報 前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

						(+12	· · D /2   1/
	食品事業	展告セグメン 飼料事業	計	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注)3
売上高							
外部顧客への売上高	282, 328	59, 462	341, 790	4, 567	346, 358	_	346, 358
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3, 740	5	3, 746	3, 001	6, 747	△6, 747	_
計	286, 068	59, 468	345, 537	7, 569	353, 106	△6, 747	346, 358
セグメント利益	12, 849	713	13, 563	1, 320	14, 883	△1,736	13, 146
セグメント資産	196, 532	22, 730	219, 263	27, 669	246, 933	15, 305	262, 238
その他の項目							
減価償却費	8, 604	432	9, 036	986	10, 023	191	10, 214
のれんの償却額	144	_	144	_	144	_	144
持分法適用会社へ の投資額	10, 316	2, 633	12, 950	2, 172	15, 122	_	15, 122
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	12, 920	424	13, 344	617	13, 962	198	14, 160

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業、不動産業、植物工場、保険代理業、自動車等リース業、運輸業等を含んでおります。
  - 2 調整額は、以下のとおりであります。
    - (1) セグメント利益の調整額 $\triangle$ 1,736百万円には、セグメント間取引消去 $\triangle$ 3百万円、全社費用 $\triangle$ 1,733百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない企業集団の広告に要した費用、基礎的研究開発費であります。
    - (2) セグメント資産の調整額15,305百万円には、報告セグメント間の相殺消去△17,851百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産33,157百万円が含まれております。全社資産は、主に親会社での余資運用資金(現金)、長期投資資金(投資有価証券)及び基礎的研究開発に係る資産等であります。
    - (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額198百万円は、主に基礎的試験研究用資産に係る投資であります。
  - 3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

						( 1 1 1 2	<u> 🗆 // 11/ </u>
	報告セグメント 食品事業 飼料事業 計		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表計上額(注)3	
	7 (111 7 )11						(111)
売上高							
外部顧客への売上高	273, 533	56, 162	329, 695	4, 729	334, 425	_	334, 425
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3, 414	3	3, 417	3, 057	6, 475	△6, 475	_
計	276, 947	56, 166	333, 113	7, 787	340, 900	△6, 475	334, 425
セグメント利益	10, 975	485	11, 460	1, 428	12, 888	△1,762	11, 126
セグメント資産	194, 321	23, 162	217, 484	26, 886	244, 370	11, 133	255, 504
その他の項目							
減価償却費	8, 862	438	9, 301	913	10, 215	202	10, 417
のれんの償却額	144	_	144	_	144	_	144
持分法適用会社へ の投資額	10, 963	3, 888	14, 852	2, 219	17, 072	_	17, 072
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	10, 226	590	10, 817	609	11, 426	67	11, 494

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業、不動産業、植物工場、保険代理業、自動車等リース業、運輸業等を含んでおります。
  - 2 調整額は、以下のとおりであります。
    - (1) セグメント利益の調整額 $\triangle$ 1,762百万円には、セグメント間取引消去 $\triangle$ 7百万円、全社費用 $\triangle$ 1,754百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない企業集団の広告に要した費用、基礎的研究開発費であります。
    - (2) セグメント資産の調整額11,133百万円には、報告セグメント間の相殺消去△21,046百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産32,179百万円が含まれております。全社資産は、主に親会社での余資運用資金(現金)、長期投資資金(投資有価証券)及び基礎的研究開発に係る資産等であります。
    - (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額67百万円は、主に基礎的試験研究用資産に係る投資であります。
  - 3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

### b. 関連情報

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

「1. 経営成績等の概況(1)当期の経営成績の概況」に製品及びサービスごとの情報を開示しているため、記載を省略しております。

### 2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載しておりません。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

「1. 経営成績等の概況(1)当期の経営成績の概況」に製品及びサービスごとの情報を開示しているため、記載を省略しております。

### 2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資產

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載しておりません。

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報 前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) 該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日) 該当事項はありません。 d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報 前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

					(     <u>                                 </u>	
	報告セグメント		その他	全社・消去	合計	
	食品事業	飼料事業	て V)(III)	主任・何云	<u> </u>	
当期償却額	144	_	_	_	144	
当期末残高	976	_	_	_	976	

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		2 0 lih	全社・消去	合計
	食品事業 飼料事業		その他		
当期償却額	144	_	_	_	144
当期末残高	831	_	_	_	831

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報 前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) 該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日) 該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)		当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	
1株当たり純資産額	3,875.58円	1株当たり純資産額	4, 156. 73円
1株当たり当期純利益	369.44円	1株当たり当期純利益	356.01円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	一円	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	一円

# (注) 1. 算定上の基礎

# 1 1株当たり純資産額

項目	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	133, 253	138, 619
普通株式に係る純資産額(百万円)	129, 610	134, 978
差額の主な内訳(百万円) 非支配株主持分	3,642	3, 641
普通株式の発行済株式数(株)	33, 985, 420	32, 995, 420
普通株式の自己株式数(株)	542, 511	523, 094
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数(株)	33, 442, 909	32, 472, 326

# 2 1株当たり当期純利益

項目	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
(1) 1株当たり当期純利益		
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	12, 358	11, 599
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	12, 358	11, 599
普通株主に帰属しない金額(百万円)	_	_
普通株式の期中平均株式数(株)	33, 451, 733	32, 583, 205

<sup>(</sup>注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。